サーバ証明書のダウンロードに失敗した場合どうすればいいですか（指定されたURLへのアクセスは拒否されました）

問題

「指定されたURLへのアクセスは拒否されました。」というエラーが表示され、サーバ証明書のダウンロードに失敗します。

解決方法

支援システムからのサーバ証明書ダウンロードには有効期限があります（発行申請から30日以内）。
期限切れの証明書取得URLにアクセスした場合，「指定されたURLへのアクセスは拒否されました。」というエラーが表示されます。

そのような状況でサーバ証明書取得を希望される方は，以下の内容をメールに記入の上，「証明書発行受付通知メール（証明書取得URLが記載されているメール）」を添付して，貴機関の登録担当者宛にサーバ証明書の取得代行を依頼してください。

> *** 登録担当者へのメール文面 (ここから) ***
>
> 件名: サーバ証明書取得代行のお願い
> ・サーバのFQDN:
> ・申請日:
> 上記サーバ証明書の取得に失敗してしまいます。
> すみませんが下記FAQのURLを参考に，サーバ証明書の取得代行をお願いします。
> Q6-5. サーバ証明書のダウンロードに失敗した場合どうすればいいですか？
> https://certs.nii.ac.jp/faq/q6
>
> *** 登録担当者へのメール文面 (ここまで) ***

上記問い合わせを受けた登録担当者の方は，以下の手順に従ってサーバ証明書を取得し，利用管理者の方へお渡しください。

> 1. 証明書発行支援システムから、自機関で発行された証明書の情報一覧をダウンロードしてください。
> 2. 1でダウンロードしたファイル(以降serverAll.tsvと呼びます)をTSVツールのTSVビューアで表示させます。
>   1. https://certs.nii.ac.jp/tsv-tool/にアクセスしてください。
>   2. 「ファイル選択」からserverAll.tsvを選択し「読込」をクリックしてください。
> 3. 発行済み証明書のリストが表示されますので，リストのすぐ上にある「絞り込む」ボタン横の検索ボックスに検索対象のFQDN等を入力して「絞り込む」ボタンをクリックしてください。
> 4. 検索結果として表示された中から対象の主体者DNをクリックし，詳細画面に移動してください。
> 5. 「証明書(PEM形式)」の項に証明書の内容が表示されていますので，
>   「-----BEGIN CERTIFICATE-----」から「-----END CERTIFICATE-----」までを含めて
>   全てコピーしてください。
> 6. メモ帳などを起動し，5の内容をペーストしてください。
> 7. 「www.xxx.ac.jp.crt」のように，末尾が「.crt」で終わるファイル名を付けて保存してください。
> 8. 7で保存したファイルをメール等で利用管理者に渡してください。

関連記事

- サーバにアクセスすると「証明書は失効しています」と表示される
- 電子証明書自動発行支援システムやUPKI申請システムにログインできなくなった
- ブラウザでのクライアント証明書認証時、エラーが表示される（2021年8月31日以降）
- 登録担当者が支援システムにアクセスすると，エラーが表示されます
- UPKI証明書を使用しているサイトにアクセスすると遅延が発生する